

令和 6 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	19,175,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、事務室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,870	13,961	12,782	12,271	12,130
	移動児童館利用者数	1,031	104	1,695	105	157
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※9(0)	※3(0)	※9(9)	※2(2)	※5(0)
	開館日数(単位:日)	147	143	148	144	148

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①岐阜市児童館条例施行規則第3条のとおり履行。開館時間は9:30～17:30までとしました。 ②所長(兼務)、常勤職員(児童厚生員2人)、非常勤職員(児童厚生員1人)を配置。 ③児童用おたよりは毎月小学校に配布。幼児用おたよりは保健センター、公民館及びもえぎの里に掲示依頼。 また、ホームページ、インスタグラム、子育て支援アプリを活用して、行事案内や活動内容等をタイムリーに情報発信しました。 ④ご意見箱の設置。苦情については、施設長を責任者として解決にあたるしくみ・申出先を館内掲示し、適切に対応できる体制をとっています。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアル通りに実施しました。 ②職員による館内清掃は毎日実施。さらに週2回就労継続支援B型事業所による徹底した清掃を実施しました。その他業者によるカーペット、窓等の清掃を行い、快適な空間を保持しました。 ③使用していない部屋の消灯や、こまめなエアコンのオフを実践。さらに、窓の開閉による温度調整を行うなど、節エネ対策を講じました。また工作には廃材を利用し、環境に配慮した施設運営を心掛けました。 ④職員による施設の点検を実施し、不具合個所の早期発見につなげています。玩具は、片付けや消毒の際に点検して、職員による修繕が無理なものについては、おもちゃ病院に依頼するなどして対応。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①②軽微で職員対応が可能なものは、即時対応。それ以外については、当法人事務局と相談し、業者へ修繕を依頼。ただし、玩具は「おもちゃ病院」に修理を依頼しました。大規模で緊急性があるものについては、岐阜市に報告及び修繕要望をするようにしています。 以前からあった、「遊戯室の照明が暗いので改善してほしい」との利用者からの強い要望については、岐阜市に現場を見てもらい、LEDへの交換対応を依頼しました。また、幼児室の経年劣化した量についても、7月に行ったリノベーション工事に合わせて表替えをしてもらいました。どちらも、利用者からは大変好評で、喜ばれています。
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①②③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対応マニュアル、児童福祉法等関係法令等を遵守し、適切に実施しました。災害や事故などが発生した場合は岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。個人情報記載の用紙は、すべてシュレッダー処理を行うなど情報漏洩の防止を徹底。また、7月には、併設する高齢福祉センターと合同で消防訓練を実施しました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年7月8日～8月27日 回答者数: 100人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年7月19日～8月28日 回答者数: 50人(小学: 1年7人、2年8人、3年4人、4年8人、5年4人、6年5人) (中学: 1年9人、2年2人、3年3人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 柳津(30人)、茜部(15人)、鶯(15人)、市橋(7人)、三里(6人)、鏡島(3人)、且格(3人)、加納(2人)、加納西(2人)、その他市内(2人)、その他市外(15人) 【年齢】 10代(0%)、20代(22%)、30代(70%)、40代(8%)、50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(3%)、ほぼ毎日(2%)、週2～3回(7%)、週1回(33%)、2週間に1回(35%)、月1回(18%) 【来館相手】 子(100%)、孫(0%)、友人(0%) 【子・孫の年齢】 0才(30%)、1才(30%)、2才(26%)、3才以上(14%) 【来館方法】 徒歩(1%)、自転車(0%)、自家用車(99%)、公共交通機関(0%) ホームページ(49%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(1%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(32%)、ぎふ子育て応援アプリ(6%)、ブログ・SNS等のソーシャルメディア(5%)、その他(5%) 【評価】 (あいさつ) 満足(96%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(94%)、ほぼ満足(4%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(81%)、ほぼ満足(13%)、普通(4%)、やや不満(2%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(93%)、ほぼ満足(6%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(90%)、ほぼ満足(7%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)

利用者アンケートの実施結果	<小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 柳津小学校(36人)、境川中学校(14人) 【学年】 小学: 1年(14%)、2年(16%)、3年(8%)、4年(16%)、5年(8%)、6年(10%) 中学: 1年(18%)、2年(4%)、3年(6%) 高校: 1年生(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(6%)、毎日(10%)、週4・5回(30%)、週2・3回(20%)、週に1回(10%)、その他(24%) 【来館相手】 ひとりで(3%)、友人(51%)、兄弟姉妹(11%)、父母(22%)、祖父母(0%)、親戚(0%) 【来館方法】 徒歩(17%)、自転車(50%)、自家用車(31%)、その他(2%) 【好きな遊び】 ドッジボール(35%)、バドミントン(20%)、マンカラ(14%)、卓球(7%)、カロム(4%)、フラフープ(4%)、その他(16%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<保護者> ・ベビーベッドのタオルを定期的に交換してほしい。 →随時、汚れ等の点検を行っていますが、気づかず申し訳ありませんでした。以後、点検を徹底して交換していきます。 ・駐車場がよく満車になるので、クラブや講座の人数を少なくしていいかなと思います。 →小学校の西隣の空き地に停めさせていただけるよう、学校にお願いしてあります。ご不便をおかけしますが、満車時にはそちらをご利用ください。 ・幼児室の冷房の効きが悪く、暑い時がよくある。 →業者に相談しましたが、建物の構造上、現在の設備ではこれ以上は難しいとの回答でした。市にも相談し検討します。 <児童> ・皿回しを教えてほしい →しよくいんに声をかけてください。いつでもいっしょにまわします。 ・お菓子とジュースをOKにしてほしい →じどうかんには、あかちゃんやちいさい子もあそびにきます。こぼれたおかしやジュースを、あかちゃんが口にしたり、アレルギーの子がたべしてしまうといけませんので、おかしやジュースはきんしにしています。ごめんなさい。 ・ドッジボールのボールを替えてほしい →あんぜんのために、やわらかいボールをつかっています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□業務改善や工夫(効果性③)
・「なつまつり」「ちびっこなつまつり」の実施
小学生対象の「なつまつり」、未就園児対象の「ちびっこなつまつり」で、羽島北高校、境川中学、小学生にお手伝いをしてもらいました。「なつまつり」では、スタッフ会議での事前準備から当日のお手伝いまでを、ボランティアとして大いに盛り上げてくれました。「ちびっこなつまつり」では、幼児にやさしく声掛けをして、一緒に楽しんでいました。小学生にとっては、中学生や高校生のお兄さん、お姉さんと関わることが本当にうれしそうでした。
・中学生、小学生(放課後児童クラブ)と幼児とのふれあい
去年まで、夏休みはお休みだった、0歳児クラブ「エンジェルタイム」を8月に実施しました。夏休み期間中は、館内の放課後児童クラブは朝から開いているので、この「エンジェルタイム」と未就園児クラブ「ぞうさん広場」の実施時に、放課後児童クラブの児童に絵本の読み聞かせなどをやってもらいました。当日は、中学生にもお手伝いをしてもらい、幼児との触れ合いに笑顔が絶えませんでした。

□新規事業(行事)等の実施(効果性③)
・子育て講座の開催(再掲③⑮)
青少年育成市民会議との共同開催で、母親を対象とした講座「子どもの心を読み解く心色リーディング」を開催しました。「色を使った育児支援」を展開しているカラーセラピストを講師としてお招きし、託児ありで募集をしたところ、定員を大幅に上回る参加者があり、参加したママさんの子育ての悩みの解消の一助となりました。託児は青少年市民会議の人と協力して行い、安心して受講できるよう配慮しました。
・自由参加の幼児クラブの実施(再掲③⑥)
自由に参加できる幼児クラブをやってほしいという母親からの強い要望に応える形で、今年度より、事前申し込み不要で当日参加可能な幼児クラブ「ひつじクラブ」を始めました。朝のこどもの体調や気分に合わせて自由に参加できるため、大変人気があります。
◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。
・なつまつりスタッフ会議において、出し物や役割等を自分たちで考えて準備してくれました。羽島北高校の生徒を中心に、境川中学、小学生が自分たちの意見を出し合い、少しでも楽しくなるよう一生懸命話し合いました。当日もスタッフとして、積極的に盛り上げてくれて、大盛況でした。
・夏休みに実施した幼児クラブで、中学生、小学生の子供たちに、絵本の読み聞かせやお手伝いをしてもらいました。最初は恥ずかしそうでしたが、読み聞かせも最後までやり切り、幼児と楽しそうにふれあっていました。

□配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか(効果性④)
・不登校生への居場所の提供
境川中学から不登校生徒へ活動の場を提供できないかとの相談があり、空いている時間帯に、遊戯室を居場所として提供しました。学校には足が向かないが、児童館なら行けるという本人の要望に応える形となりました。当日は、相談員の方と来館し、バドミントンやドッジビー等で気分転換をしていきます。来館した幼児の親子とも談笑する姿も見られました。
・支援学級児童への活動場所の提供
柳津小学校からの依頼を受け、支援学級の校外活動の場として遊戯室を開放しました。引率の先生と来館し、学校の授業では体験できないおもちゃなどで楽しそうに遊んでいきました。今後も、要請があれば、空いている時間に部屋を提供していきます。

□移動児童館の実施(効果性⑤)
実施回数9回 参加者合計 1,031人
・もえぎっこ 13人 ・柳津どんとこいこいまつり 583人
・柳津小さきめき広場(放課後子ども教室) 73人
・親子ふれあい教室(青少年育成市民会議) 16人
・柳津小「夏チャレ2024」 259人 ・児童クラブ4回 87人

□利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)
・幼児室のリノベーションを行い、段差の解消や電灯のLED 化等快適な空間を提供しました。また、かねてから不評だった経年劣化した量も表替えをして一部で利用するなど和の良さも残しました。
□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)
・小学生対象のおはなしラッパの読み聞かせ
通常、乳幼児を対象に行っている読み聞かせを、小学生を対象に実施しました。手遊びや簡単なゲームなどもあり、子供たちの反応も大きく、大盛り上がりでした。
・自由参加の幼児クラブの実施(再掲③⑥)
自由に参加できる幼児クラブをやってほしいという母親からの強い要望に応える形で、今年度より、事前申し込み不要で当日参加可能な幼児クラブ「ひつじクラブ」を始めました。朝のこどもの体調や気分に合わせて自由に参加できるため、大変人気があります。
・夏休み期間中に、あみあみプレスレット、カラーサンド、ミニチュアパフェ等の工作を企画。多くの小学生が参加し、利用者増に繋がりました。

□職員研修の実施(安定性、安全性⑫)
・スキルアップ研修会 児童館職員全体のスキルの向上を目的として2回実施
絵本の読み聞かせ方(6/21西)、おすすめのおもちゃ・ゲーム(7/3本郷)
・虐待防止研修会(5/24岐阜県警) 研修後、職員間で子どもたちのちょっとした異変を見落とさないよう再確認しました。
・発達障害の理解と支援(9/11エールぎふ) 対応がなかなか難しい子どもとの関わり方について、エールぎふ職員に研修を行ってもらいました。
・熱中症対策研修会(7/5) 熱中症予防と対策について、保健センター職員による研修を実施
・普通救命講習(6/12) 緊急時措置としてのAEDの使い方を、人形を使って体験しました。
・新規採用者研修会(7/11) 児童館の役割等について学びました。
・感染症対策研修(7月～8月) 動画視聴で行い、感染症予防の徹底を再認識しました。

□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)
・学びの広場(学習支援)
地元ボランティア、岐阜聖徳学園大学、羽島北高校の生徒にお願いし、春休みと夏休みに実施しました。最初は緊張していた子供たちが、最後の方は「お兄さん先生」「お姉さん先生」と仲良くなり、楽しそうに勉強している姿が印象的でした。
・柳津どんとこいこいまつり
昨年に引き続き参加し、幼児とその保護者、小学生を中心に、小さなこいのぼりを作ってもらいました。大変多くの人に楽しんでもらい、用意した材料が途中でなくなるほど大盛況でした。(参加人数:幼児211人、小学生95人、大人277人、合計583人)

今期の取組み に対する評価	・柳津小学校夏チャレ2024 初めて参加し、小学生にストローのプレスレットを作ってもらいました。境川中学の生徒がお手伝いをしてきて、小学生と一緒に、悪戦苦闘しながらも、プレスレット作りにチャレンジしていました。 □地元住民・高齢者・障がい者等の活用（貢献性⑭） ・合同フラダンスの発表会 高齢者福祉センターのフラダンス講座の受講生と合同で発表会を行いました。子供たちにとって、日頃の練習の成果を発揮できる良い機会になると同時に、高齢者とのふれあいの場になりました。 ・天保宮下太鼓の体験教室 伝統芸能である和太鼓の体験教室を夏休み期間に行いました。1階のホールで練習したため、高齢者の目にも止まりお互いの良い刺激になりました。 ・高齢者福祉センターの囲碁サークルの利用者に、囲碁を教えてもらいました。伝統遊びの継承と高齢者との交流に繋がりました。 □地元の振興、活性化に貢献できる社会活動等への参加（貢献性⑮） ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 毎月1日の就業前に全職員で建物南側道路の清掃を行っています。 ・子ども110番の登録(再掲⑬⑮) 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。 □地元の団体・住民との協働事業等の実施（貢献性⑮） ・子育て講座の開催(再掲③⑮) 青少年育成市民会議との共同開催で、母親を対象とした講座「子どもの心を読み解く心色リーディング」を開催しました。「色を使った育児支援」を展開しているカラーセラピストを講師としてお招きし、託児ありで募集をしたところ、定員を大幅に上回る参加者があり、参加したママさんの子育ての悩みの解消の一助となりました。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	□所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。 →継続事業に加え、子育て講座の開催、自由参加できる幼児クラブの実施等新たな事業も行いました。母親からは大変好評で、利用者増に繋がりました。 □アンケート等子どもの意見を大切に、今後も運営に努めてほしい。 →アンケートで好きな遊びに挙がっているドッジボール、バドミントンなどは、夏休みに行事として企画し、小学生の利用増につなげました。また、ボードゲーム等、職員が子どもたちと一緒に遊び、話すことで、来館しやすい雰囲気を作り出すよう努めました。 □子どもたちが、地域の方々と交流を図れる機会の提供に努めており評価できる。 →伝統芸能である和太鼓の体験教室や、「なつまつり」「ちびっこなつまつり」での高校生・中学生との交流など企画しました。子どもたちの生き生きした笑顔が印象的でした。
今後の取組み	□虐待が疑われる幼児、児童に対して幼児は保健センター、児童はエールぎふと連携を図っていきます。虐待事例はありませんでしたが、引き続き虐待を見逃すことなく、悩んでいる母親がいれば傾聴し、見守りやアドバイスをしていきます。 □発達障害の高校生の利用があるので、来館時は見守りを継続していきます。不登校生徒への居場所提供も、引き続き空き時間に行っていきます。

●所管課の意見

○なつまつりを小・中・高校生ボランティアと実施したり、母親を対象とした子育て講座を開催する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。

○近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、バドミントンを行ったり、幼児の親子とも交流する等、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

○春休みと夏休みに地元ボランティアや大学生、高校生による学習支援を実施したり、高齢者福祉センターと合同でフラダンスの発表会を開催する等、交流事業に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

○夏休みに実施した小学生対象の絵本の読み聞かせについて、良い取り組みである。

○春休みに実施されている大学生などによる学習支援について、小中高校生のつながりをもつ良い取り組みである。

○自由参加の幼児クラブの実施に積極的に取り組んでいる。